

## (社福) 北海長正会介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

## 1 職務の理解 (6時間)

○到達目標・評価基準

研修に先立ち、これから介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
1. 多様なサービスの理解	2時間	[講義] ・介護保険による居宅とサービスの種類、施設サービスの種類とサービスが提供される場の特性を理解する、 ・介護保険外のサービスの種類と、サービスが提供される意義や目的を理解する
2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4時間	[講義] ・各種サービスの内容や利用者像を通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する ・ケアマネジメントを通じて、介護サービス提供に至るまでの流れを理解する。 [演習] ・特養、デイサービス、グループホーム等を見学し、介護職の具体的なイメージを持って各科目の学習に取り組めるようにする。
合計	6時間	

## 2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）

### ○到達目標・評価基準

介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、権利擁護、自立支援、介護予防という介護福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する

介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる

利用者の尊厳という視点で虐待・不適切なケアの予防、身体拘束防止についての基本を概説できる

項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 人権と尊厳を支える介護	6時間	1時間	5時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ</li> <li>・介護に関する基本的視点（ICF、QOL、ノーマライゼーション）について理解する</li> <li>・利用者の権利を擁護するための制度や種類や内容について理解する。</li> </ul> <p>[演習]</p> <p>介護職に求められる権利擁護の視点について討議する</p> <p>[通信課題・添削ポイント]レポート600字以上</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本国憲法では「人権」がどのように規定されているか概説できる</li> <li>2) 介護職に求められる「権利擁護の視点」を概説できる</li> <li>3) 高齢者・障害者への虐待行為例を概説できる</li> </ol>
2. 自立に向けた介護 (1) 自立支援 (2) 介護予防	3時間	0.5時間	2.5時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における自立とは何かを学ぶ</li> <li>・「その人らしさを」を尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する</li> <li>・介護の予防の考え方について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント]レポートは600字以上</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「自立した生活」を支えるための介護職に求められる「援助の視点」を概説できる</li> </ol>
合計	9	1.5時間	7.5時間	

### 3 介護の基本（6時間）

#### ○到達目標・評価基準

介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解できる。

介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支える視点から支援を捉えることができる。

介護食が目指す目標、目的、役割を概説でき、家族介護と専門職の介護の相違、専門性を列挙できる。

医療、看護、相談援助職など、他専門職との連携の必要性を列挙できる

介護職としての職業倫理の重要性を理解し、専門性との関係を概説できる

介護現場における事故、感染症や様々なリスクについて説明できる

項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 介護職の役割、専門性と他職種連携	2 時間	1 時間	1 時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護環境の特徴（施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など）を学ぶ</li> <li>・介護の専門性と専門職に求められることを学ぶ</li> <li>・他職種連携の目的を学び、利用者を支援する様々な専門職について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の専門性について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の専門性について概説できる</li> </ul>
2. 介護職の職業倫理	2 時間	1 時間	1 時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職が持つべき職業倫理を学ぶ</li> <li>・日本介護福祉士会倫理綱領を参考に介護職に係る倫理綱領を理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職における倫理の重要性について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士倫理綱領について概説できる</li> </ul>
3. 介護職における安全の確保とリスクマネジメント	1 時間	0.5 時間	0.5 時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ</li> <li>・利用者を取りまく介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメントについて事例を用いて理解を深める</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策の基本について概説できる</li> </ul>

4. 介護職の安全	1 時間	0.5 時間	0.5 時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の特徴を踏まえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ</li> <li>・介護職に起こりやすいところとからだの病気や障害について学ぶ</li> <li>・介護職自身の健康管理方法（病気や障害の予防と対策）について学ぶ</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス、腰痛予防について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職が「腰痛になりやすい理由と予防策」について概説できる</li> </ul>
合計	6 時間	3 時間	3 時間	

#### 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）

##### ○到達目標・評価基準

介護保険制度や障害者総合福祉法を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各種専門職の役割・責務について、その概要のポイントを習得する。

介護保険、障害者総合支援法の目的について列挙できる。

ケアマネジメントの目的、課程について列挙できる

介護保険、障害者総合支援法に位置付けられるサービスの種類を列挙できる。

介護職としてできる医行為、施設における看護職の役割、訪問看護の目的が概説できる

項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 介護保険制度	3.5 時間	0.5 時間	3 時間	[講義] ・介護保険制度創設の背景と制度の目的、動向を理解する ・介護保険制度の基本的なしくみを理解する ・介護保険制度に関わる組織とその役割を理解すると共に、制度の財政について学ぶ [演習] ・予防給付と介護給付の相違について討議する [通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上 ・介護保険制度における市町村の役割を概説できる
2. 医療との連携とリハビリテーション	3 時間	0.5 時間	2.5 時間	[講義] ・介護職と医療行為の実情と経過について理解する ・在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する ・リハビリテーションの考え方について理解する [演習] ・リハビリテーションの考え方について討議する [通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上 ・他職種連携について概説できる
3. 障害者総合支援法、その他の制度	2.5 時間	0.5 時間	2 時間	[講義] ・障害福祉制度における障害の概念について、その歩みを踏まえて学ぶ ・障害者総合福祉法の基本的な仕組みを理解する [演習] ・障害（者）について討議する [通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上 ・障害者総合支援法の介護給付費サービスについて概説できる
合計	9	1.5 時間	7.5 時間	

## 5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）

### ○到達目標・評価基準

高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、最低限とすべき（とるべきではない）行動例を理解する。

共感、受容、傾聴などのコミュニケーションの基本を概説できる

家族の心理を理解した相談援助職としての態度を概説できる

項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 介護におけるコミュニケーション	3時間	1.5時間	1.5時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する</li> <li>介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロールプレイを通してコミュニケーション技法を体験する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは600字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職に求められるコミュニケーションの基本を概説できる。</li> </ul>
2. 介護におけるチームのコミュニケーション	3時間	1.5時間	1.5時間	<p>[講義・演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際の介護記録を参考にしながら記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは600字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい介護記録について概説できる</li> </ul>
合計	6	3	3	

## 6 老化の理解（6時間）

### ○到達目標・評価基準

加齢、老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。

加齢、老化に伴う生理的、心身の変化や社会・身体的・心理的・知的機能の変化に着目した心理的特徴を列挙できる

項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 老化に伴うところとからだの変化と日常	3時間	1.5時間	1.5時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する</li> <li>・老化と共に社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する</li> <li>・多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化に伴う生活障害について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは600字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化に伴う心身の変化と生活への影響を概説できる</li> </ul>
2. 高齢者と健康	3時間	1.5時間	1.5時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に多くみられる症状や訴えがどのような疾病から起こるか等、その特徴について理解する</li> <li>・高齢者に多い病気や特徴、その病気を抱える高齢者の生活上の留意点について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化に伴う健康管理について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは600字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に多い疾病とその特徴を概説できる</li> </ul>
合計	6時間	3時間	3時間	

## 7 認知症の理解(6時間)

### ○到達目標・評価基準

介護における認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。

認知症ケアの変遷やケアの理念、パーソン・センタードケアについて概説できる

物忘れと認知症の違いについて概説できる

認知症のある人の中核症状とBPSD等の基本特性について概説できる。

認知症の人の健康管理の留意点、生活環境の整備の意義について概説できる

認知症の人とのコミュニケーション方法について概説できる

介護する家族の気持ちやストレスについて概説できる

項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 認知症を取り巻く状況	2時間	1時間	1時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症を中心としたケア」から「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する</li> <li>・問題視するのではなく、人として接することを理解する</li> <li>・できないことではなく、できることをみて支援することを理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その人らしさについて討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは600字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職として認知症の人へかかわる基本的なポイントを概説できる</li> </ul>
2. 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1時間	0.5時間	0.5時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化のしくみと脳の変化を学び、認知症の原因を理解する</li> <li>・認知症に類似した症状を持つ疾病について学ぶ</li> <li>・アルツハイマー型認知症、血管性認知症をはじめとした認知症の主な原因疾患の病態、症状について学ぶ</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を用いて原因疾患別の認知症について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは600字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルツハイマー型認知症の症状や特徴を概説できる</li> </ul>



3. 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	2 時間	1 時間	1 時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の人の中核症状とBPSDについて理解すると共に生活の支障について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BPSDの軽減方法について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症のある人への生活環境への配慮について概説できる</li> </ul>
4. 家族への支援	1 時間	0.5 時間	0.5 時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例を用いて家族の心理や抱える葛藤について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族支援の具体例を用いて、その方法について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の人を介護する家族の介護負担軽減する方法を概説できる</li> </ul>
合計	6 時間	3 時間	3 時間	

## 8 障害の理解（3時間）

### ○到達目標・評価基準

障害概念、ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、障害者に対する介護の基本的な考え方を理解する  
 障害の概念とICFについて概説でき、障害に特徴とそれに応じた支援について列挙できる  
 障害受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。

項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
1. 障害の基礎的理解	1 時間	0.5 時 間	0.5 時 間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害とはどういうものなのかという考え方から学ぶ</li> <li>・ICFに基づきながら「障害」の概念を理解する</li> <li>・障害者福祉の基本理念について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICFを用いて障害を理解する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICFの特徴を概説できる</li> </ul>
2. 障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴	1 時間	0.5 時 間	0.5 時 間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の原因となる主な疾患を理解する</li> <li>・障害に伴う心理的影響、障害の受容を理解する</li> <li>・障害のある人の生活を理解し、介護上の留意点について学ぶ</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の受容について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の受容のプロセスを概説できる</li> </ul>
3. 家族の心理、関わり支援の理解	1 時間	0.5 時 間	0.5 時 間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援は、家族介護の肩代わり支援だけではないことを理解する</li> <li>・我が国に求められるレスパイとトサービスの課題を理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援のあり方について討議する</li> </ul> <p>[通信課題・添削ポイント] レポートは 600 字以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の介護負担軽減の方法を概説できる</li> </ul>
合計	3 時間	1.5 時間	1.5 時間	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）

I 介護に関する基礎的理解

- 理論や法的根拠に基づく介護の基本的な考え方を習得する
- 介護技術の基本となる「こころのしくみ」に関する知識を習得する
- 介護技術の根拠となる「からだのしくみ」に関する知識を習得する

II 生活支援の技術の講義・演習

- 安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全解除等の介護が実施できる
- 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、もてる力を発揮してもらいながらその人の在宅、地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する

III 生活支援技術演習

- 生活の各場面での介護について、事例を通じて、生活支援を提供する流れを理解し、技術を習得する
- 利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を習得する

<実習 12 時間>

施設 7 時間（整容、移動・移乗、食事各 2 時間+睡眠 1 時間）

訪問介護 5 時間（生活と家事 3 時間+居住環境 2 時間）

I 介護に関する基礎的理解	項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	1. 介護の基本的な考え方	4 時間	4 時間	時間	[講義] ・介護が理論的、法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する [演習・評価のポイント] ・「介護する」ということについて討議する ・近年の介護に関する見方、考え方を概説できる
	2. 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4 時間	4 時間	時間	[講義] ・学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する ・感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する ・自己概念と生きがい、老化や障害の受容に関する基礎的な知識を理解する [演習・評価のポイント] ・「介護される」ということについて討議する ・養介護状態となる高齢者のQOLの特徴や変化を4つ説明できる
	3. 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4 時間	4 時間	時間	[講義] ・骨や関節など、からだの動きのメカニズムを理解する ・神経の種類と、そのはたらきを理解する ・眼や耳、心臓をはじめとするからだの器官のはたらきを理解する [演習・評価のポイント] ・ボディメカニクスを意識した体の動きを実際に行ってみる ・基本原理を5つ以上説明できる

Ⅱ 生活支援技術の講義・演習	4. 生活と家事	6 時間	3 時間 3 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ</li> <li>家事援助は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する</li> <li>家事援助とは何かについて具体的に理解する</li> </ul> <p>[実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問介護員に同行し、家事援助場面を見学する</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同行後、家事援助の重要性を説明できる</li> </ul>
	5. 快適な居住環境と整備と介護	6 時間	4 時間 2 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心して快適に生活するために必要な環境整備とは何かについて学ぶ</li> <li>住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学ぶ</li> <li>高齢者、障害のある人が生活する中で、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ</li> </ul> <p>[実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問介護員に同行し、住宅改修、福祉用具の実際を見学する</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同行後、住宅改修、福祉用具の重要性について説明できる</li> </ul>
	6. 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	4 時間 2 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整容の必要性と、整容に関連するところとからだのしくみについて理解する</li> <li>利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身に着ける</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修生同士で着脱等のロールプレイを行う</li> </ul> <p>[実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別養護老人ホームでの整容場面の見学と体験</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員と共に着脱介護ができる</li> </ul>

7. 移動・移乗に関連した ところとからだのしくみと 自立に向けた介護	6 時間	4 時間  2 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動、移乗の必要性と、移動・移乗に関連するところとからだのしくみを理解する</li> <li>・利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響を理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生同士で車いす移動、ベッドへの移乗等のロールプレイを行う</li> </ul> <p>[実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームにおける移動・移乗場面の見学と体験</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすへの移乗と車いす操作が正しくできる</li> </ul>
8. 食事に関連したところ とからだのしくみと自立に 向けた介護	6 時間	4 時間  2 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の必要性と、食事に関するところとからだのしくみを理解する</li> <li>・利用者本人の力を活用し、食事介護を行うための技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生同士で食事介護を行う</li> </ul> <p>[実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームにおける食事内容、場面の見学と体験</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の指示の下で、食事介助が出来る</li> </ul>
9. 入浴、清潔に関連した ところとからだのしくみと 自立に向けた介護	6 時間	6 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関するところとからだのしくみを理解する</li> <li>・利用者本人の力を活かし、楽しい入浴の介護を行うための技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生同士で入浴介護を行う</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の指示の下で、安全な入浴介助が出来る</li> </ul>

10. 排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	6 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄の必要性と、排泄に関するところからだのしくみを理解する</li> <li>・利用者本人の力を活用し、気持ちの良い排泄介護を行うための技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する。</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生同士でおむつ交換を行う</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の指示の下で、おむつ交換が適切にできる</li> </ul>
11. 睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	5 時間	4 時間  1 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠の必要性と、睡眠に関するところからだのしくみを理解する</li> <li>・心地よい安眠を支援するための知識と技術を身につける</li> <li>・心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドメイキングを行う</li> </ul> <p>[実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームにおけるベッドメイキングの見学と体験</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員とベッドメイキングができる</li> </ul>
12. 死にゆく人に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	6 時間	6 時間	時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期の捉え方を学ぶ</li> <li>・終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ</li> <li>・死に直面したときの人の心理状況について理解し、心の変化の受けとめ方を学ぶ</li> <li>・看取りケア実践の事例を検討する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死、看取りについて討議する</li> </ul> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キューブラー・ロスの「死の受容」のプロセスを説明できる</li> </ul>

目生活支援技術演習	13. 介護過程の基礎的理解	5 時間	<p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護課程の目的と意義について理解する</li> <li>・介護課程の展開プロセスについて理解する</li> <li>・チームアプローチにおける介護職の役割と専門性について理解する</li> </ul> <p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの生活と介護過程の関係について討議する</li> </ul>
	14. 総合生活支援技術演習	5 時間	<p>[演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を通じて、利用者のこころとからだの力が発揮できない要因を分析する</li> <li>・事例を通じて、利用者本人にとって適切な支援技術は何かを検討する</li> <li>・事例を通じて、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点について理解する</li> </ul>
	合計	75 時間	

<介護実習> (12時間～施設実習7時間・在宅実習5時間)

実習を通して介護現場の介護の実際を見学すると共に実際に体験して習得した知識と技術を確認、振り返る。

10 振り返り(4時間)

研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再認識を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識を図る

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
1. 振り返り	2 時間	<p>[講義・演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の研修を終了して感じたことを研修生同士で話し合う</li> </ul>
2. 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	2 時間	<p>[講義・演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職となる者として今後も継続して学ぶにあたり自己課題を確認する</li> <li>・今後の介護人材キャリアパスについて理解する</li> </ul>
合計	4 時間	
全カリキュラム合計時間	130 時間	